

**【テーマ】**

**「北大を知ってもらう（自分も知る）には？」**

190万都市・札幌の中心にある北大。その知名度は全国区です。では、皆さんは北大のことを本当はどれくらい知っているのでしょうか。自分の学部の周辺や普段よく使う施設くらいしか知らない人が多いのではないのでしょうか。世間の人は北大と聞くと何を思い浮かべるのでしょうか。実際にはクラーク像、ポプラ並木くらいしか知られていないのかもしれませんが。

しかし、北大には実に多くの「資源」があります。たとえば、様々なイベント、博物館や植物園などの施設などがその一つです。また、大学病院や非常時の広域避難場所もあり、地域の健康や安全を支えてもいます。この他にも多数の「資源」が北大にはあると思いますが、その「資源」は十分に活用されているのでしょうか。

そこで今回新たに企画するプレゼン大会で「北大をもっと知ってもらうには」というテーマを設定し、学生の皆さんにこうした北大内の「資源」を使って出来ることを考えてもらいたいと思います。社会に開かれた大学にする、観光客を増やす、海外にアピールして留学生を増やす、地域の安全を担うなど、多数のアイディアを思いつくでしょう。テーマに「自分も知る」というキーワードが入っているように、プレゼンを創り上げていく過程を学生の皆さんにとって母校をより深く知るきっかけとし、自分のなかにある「資源」も掘り起こして下さい。一人でも多くの学生に参加してもらい、自らの母校について考えを深めてもらえれば、と思います。

第1回  
プレゼン大会

**【内容】**

最大で8チームのエントリーを受け付けます（多数の場合には、事前審査を行います）。1チームあたり最大15分のプレゼンテーションを行い、その後、他のチームからの質問を受け付ける時間を10分取ります。

プレゼンテーションでは、制限時間内に自らの主張を的確に伝えられる能力を問い、質問時間では他チームからの質問に簡潔に的確にこたえる能力を問うことを目的としています。他チームへの質問時間は、他チームの「穴をつく」質問を考え、自チームを相対的に優位にすることを目的としています。ここはディベート大会の流れを汲み、ある種の「ゲーム性」を取り入れた点です。その場で手短かに質問を考えることは「頭を鍛える」機会にもなるでしょうし、参加学生のコミットメントも高まると想定しています。終了後には茶話会を行ない、参加学生間の交流を図ります。

**【評価方法・表彰】**

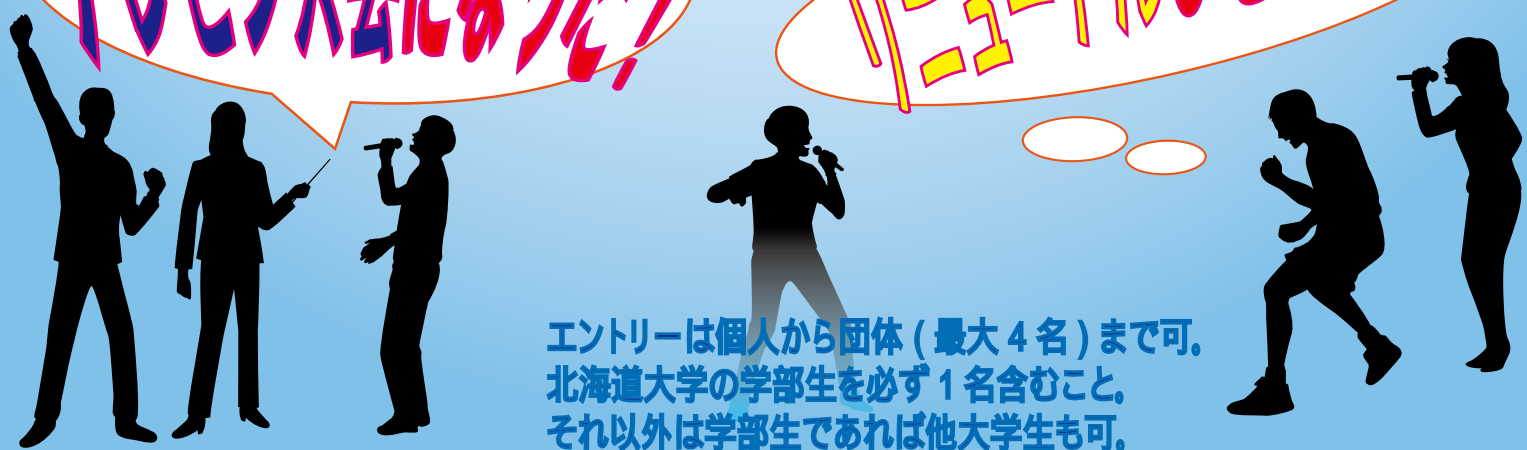
発表内容（5項目）、発表資料（3項目）、話し方（5項目）、質問への対応（2項目）の15項目で採点します。

第1位から第3位を表彰の対象とします。

**日時：2014年10月18日（土）午後**  
**場所：人文・社会科学総合教育棟 W103**

**参加チーム募集中！**

**エントリー締切：2014年8月8日（金）17時**  
エントリーシートは経済学研究科HPからダウンロードできます



エントリーは個人から団体（最大4名）まで可。  
北海道大学の学部生を必ず1名含むこと。  
それ以外は学部生であれば他大学生も可。